



発行所

財団法人

日本友愛青年協会

友愛青年連盟

文京区小石川 4-21-2

ハイツ小石川 201 号

電話 03-5684-3188

03-5684-3187

Fax. 03-5684-3186

発行人 戸来 勉

編集人 三浦厚志

報告 記事

アセアン 混成グループ見聞録
友愛リーディングコンクール & 鳩山杯英語弁論大会

混迷の時代に新しい指針を!!



友愛の旗の下で

友愛社会の実現に向けて

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。昨年は「激動の一年」という言葉が正に具現化された一年でございました。一月七日の阪神大震災に始まり、信託銀行の経営の破綻、オウム真理教の地下鉄サリン事件、観測史上最長の真夏日の続く猛暑等、上げれば限りがないほどの出来事が起こりました。私が携わらせて頂いている政界においても、数々の出来事が起こった一年でありました。こと友愛においても一年間で委員長が二度も替わるという状況でもありました。

「物事が、時代が、大きく変わる時節」というものがあると思います。それが昨年であったのではないかと考えられます。特に、今まで揺るがなかつたもの、地面が大きく揺れ、潰れるはずのないと思われた社会システム、金融機関が崩壊し、人の心も荒んで壊れていく...

そんな時節には、幾多の血を流さなければならぬのかもしれない。我々は、その悲しみや痛み、苦しみを乗り越え、失ったものたちの遺志を受け継ぎ、次の時代を創造していかなければなりません。

大きく変わるときこそ、しっかりと意思と真摯な態度で物事に立ち向かわなければなりません。改めて、祖父の一郎が創り、祖母の薫が育て、父の威一郎、母の安子を守ってきた「友愛の心」の大切さを噛みしめた一年でございました。

さて、友愛青年連盟は、昨年、創立以来、四二年目の年を数えました。人の



友愛青年連盟会長 鳩山 邦夫

年で言いますところの「厄(役)年」であります。世の中ですと、若さに任せて一心不乱に邁進する年代から、もう一つ違った役まわりを果たすべき年齢になったというところでしょ。うか。気持ちも身体も「フレックス・スタート」を切らざるを得ない年だったのかもしれない。

この度、中央常任委員会において、同志でありますところの戸来勉君が、新委員長として選出されました。また、機関紙の再刊行、新しい組織形態と活動方針等も、徐々にではありますが、固まってきたと見えます。

私も現在は、兄、由紀夫とは政治信条上の違いにより、違った道を歩いておりますが、その根本において、お互いに同じ「友愛」というものを、「祖父からの遺志」を受け継いでいることには、間違いないと思います。平成八年、八という末広がりの年、色々な面で前途が開ける年になりますよう、会員の皆さんの益々のご活躍と、関係の皆様益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。年頭の挨拶と致します。

ユニット企画 (案)

- アセアン大学を大阪に！
(大阪・佐々木慶久)
- 国連機関を広島に！
(広島・正本良忠)
- キャラバン隊よ、再び！
(新潟・飯高潤ほか)
- 地域直結型の海外招へい者の受入を！ (熊本・JOCA)
- 政治と若者の溝を埋めていこう！ (中央青少年団体連絡協議会 有志)
- 世代間交流をしよう！
(若者はエイリアンじゃないの会)

友愛で、あなたの夢を語って下さい!!

明けまして おめでとうございます

旧年中は、皆様には大変お世話になりました
より一層 友愛社会の実現のため邁進致します
本年も皆様の御協力御支援をお願い申し上げます

1996年 元旦

友愛青年連盟

会長 鳩山 邦夫

副会長 深津 榮一 石橋 義夫

中央常任委員長 戸来 勉

執行部

事業部長 先崎 文男 組織部長 山本 敏昭

国際部長 佐々木慶久 経理部長 小松 純子

教育部長 野村 明美 広報部長 飯高 潤

ユニット担当 及川 敦

事務局長 三浦 厚志 ほか中央常任委員一同

紙面上より失礼致します。

友愛ネットワーク 基本理念

それぞれが出来ることを持ち寄って、
見栄を張らず着実に

- 知恵に自信のある人はその知恵を
- 時間の余裕に自信のある人はその時間を
- 財布の中身に自信のある人はその中身を
- 「友達」に自信がある人はその仲間を

みんなで持ち寄り、何か新しいことをやろう！

「理念」とか書くと、何か小難しいことを考えなければならぬようですが、簡単に言ってしまうと、学校でいうところの、「今週の目標」っていうヤツでしょうか？

自分というものは、それ以上でもそれ以下でもなく、限られた一つの命と一つの身体を持って生まれてきたことに、誰も変わりはない。誰だって死ぬときや死ぬし、どんな偉い人だって、泣きたいときだってある。

けれど、同じ思いの人間が集まれば、スゴイ力になる。

が、しかし、「その同じ心」っていうヤツが曲者で、それが他人の「思惑」に乗ったものや、あるいは、他人の意志で動いたとき、人間は、思いもよらない「悪いこと」をする。

戦争だってそうだし、最近の一連の「オウム事件」だって、どこにでも居そうな「お兄さん」たちが起こした事件である。「自分をエリートと思っている人達だから」とか言って特別な人達だと、自分から切り放してみようとしても、「でも、あそこまで一つのことを信じて行動できたり、日々迷っていることに明確な答えを出してくるのであてば、いいよな」って囁く思いが、自分の中のどこかに潜んでいることを、あなたは否定出来るだろうか？

だから、友愛ネットワークは、個人個人が自分の出来る範囲のことを「自分の意志」で持ち寄り、自分たちで行動する、そんな「有機体」でありたいと考えます。

また、「ねばならない」的なことばかりで、雁字搦め（が）んじがらめ）にして、やめるときにも「指づめ」をしなくてはならないような、渡世の義理の押し売りもしたくはありません。基本的に会費を払えば情報が伝達される。何をチョイスするかは自由とします。但し、自分で選んだことは責任を持ってやる。これ、基本です。だから、美味しいところだけ持っていかずとか、虎の威を借る狐になろうとするヤツは、仲間はずれです。「ホシイ、ホシイ」といってばかりの子供のような自分勝手は許されません。

何か良いことをしてもらえば、それに換わるもの、自分の出来る限りのものを、相手に返すのが「人の道」「社会のルール」です。「お互いにイコールな関係」をベースに、お互いが助け合ってやっていくことが原則です。

そんな気持ちのキャッチボールの積み重ねが、「友愛ネットワーク」の活力源です。

(ユニット活動については、本紙 7 ページにて)

新友愛運動について 中央常任委員長 提言

私が友愛運動に身を投じたのは、学生時代に、ベトナム・カンボジア難民の救済活動に参加したときに始まります。当時、学生の岩屋敷さん(前代議長)等とタイ国境で荷物運びに汗を流したことが、昨日のこのように思い出されます。

希望と変革 へらい つとむ 戸来 勉

最近の友愛運動は、青年国際交流、社会教育、社会開発セミナーなどを中心とした各種事業を展開しています。さて、バブル経済が崩壊して、日本が後世の世代に何を遺産として残すのでしょうか？単に「エンビッビル」と言われるビル建設群を建てる、心の入っていない入れ物だけをつくっていくことには、何か空しさを感じます。オウム事件やいじめの問題で吹き荒れる日本はどこへ行くのでしょうか？人間の持つ持っている自尊心、ディグニティを大切に、「自由・平等、

最近の友愛運動は、青年国際交流、社会教育、社会開発セミナーなどを中心とした各種事業を展開しています。さて、バブル経済が崩壊して、日本が後世の世代に何を遺産として残すのでしょうか？単に「エンビッビル」と言われるビル建設群を建てる、心の入っていない入れ物だけをつくっていくことには、何か空しさを感じます。オウム事件やいじめの問題で吹き荒れる日本はどこへ行くのでしょうか？人間の持つ持っている自尊心、ディグニティを大切に、「自由・平等、



英語弁論大会で外務大臣奨励賞を渡す戸来委員長

以下については、常任委員会に具体的に諮っていないので、私の私案としては「一八歳からの参政権の獲得運動」を呼び掛けたいと思います。法律改正等、色々難しいことはあるかと思いますが、ドイツの青年団体のように日本の青年団体も積極的に「国民としての政治教育」をすべきだと思います。「選挙運動」と「政治教育」は区別されるべきです。政治に関わるということは、必ずしも特定の政党政派に属することではありません。むしろ、日本の若者は社会やコミュニティに参加をさせていってほしい、むしろそれらから逃避し、モラトリウム期間と言って自己の卒業に耽つていて良いものでしょうか？

最近の政治不信を反映し、投票率も極端に低下してきています。これは「民主主義社会の決定的危機」であると思います。二〇歳から二十四歳の男性の投票率が二五、五六% (第一六回参議院選挙)と四分の一のしかなかった投票率は、約一、八

二九万人います。「選挙権の一八歳からの導入」は、青少年に夢と希望を与え、積極的に社会参加を促すきっかけになると思います。先進国の中にも一八歳から選挙権がある国は多数あります。若者が「責任感と自覚」を持ち、社会参加することに期待したいと思っています。

友愛の役員について

友愛は左記のように、二つの団体がオーバーラップして、活動を行っています。

役割分担としては、

財団は、基本財産・経理の管理、軽井沢友愛山荘の経営、公的補助金などの受入窓口。連盟は、事業などの企画や実施運営、会員活動のバックアップ。

そして会員の皆さんは連盟に所属します。友愛ネットワークもその中に分類されます。

なお、現在、友愛の心の故郷の「音羽邸」が鳩山会館として、本年5月を目処にオープン予定で改装中です。その準備のために、友愛のメンバーの田中恭一(元委員長)さんが今、その準備にあたっています。

財団法人 日本友愛青年協会

顧問 石川 六郎氏
ほか 5 名

理事長 鳩山 安子
常務理事 石橋 義夫
川手 正一郎
福井 政男
理事 鳩山 由紀夫
鳩山 邦夫
ほか 9 名

監事 和井内 清
田辺 克育
評議員 大塚 利兵衛
ほか 23 名

事務局長 長田 正太郎 (非常勤)

友愛青年連盟

顧問 各、若干名
相談役 各、若干名

参与 鳩山 邦夫
会長 深津 榮一
副会長 石橋 義夫
中央常任委員長 戸来 勉
中央常任委員 約 25 名
中央委員 約 60 名

(現在、再登録をお願い中のため、未確定)

事務局長 三浦 厚志
.....

鳩山会館プロジェクト
事務局 田中 恭一



文部省 青少年教育課 結城光夫 専門員と講義の後に記念撮影



共立女子大学 城塚 登 学長



広瀬国際文化学部長より 大学の概要を聞く

友愛では、国際協力事業団(JICA)および熊本県青年海外協力協会と協力して、アセアン六ヶ国(ブルネイ・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイランド)より各三名、合計一八名の受入を下記の日程で行った。各地で、招へい青年は、多くのことを見て聞いて、多くの友人をつくって一月二三日に無事、思い出とともに帰国した。以下にその報告を掲載する。

○都内プログラム(一月一日〜六日)

文部省表敬訪問

今回の招へい青年が、教員と教育関係者のグループであるので、文部省表敬では、友愛を含め多くの青少年団体の窓口である青少年教育課を訪問し、結城光夫専門員より、「日本の教育制度について」の講義を受けた。

一月二日(木)

共立女子大学の視察

中央高速道路の工事のため渋滞が予想され、午前七時頃に池袋サンシャインプリンスホテルを出発した一行は、予定より一時間近くも早く八王子校舎に到着したにも関わらず、すでに受入責任者の石橋義永・共立大学国際交流室参与ほか、事務局の方々が迎えて下さった。

まず始めに、図書館棟で、城塚学長、広瀬学部長、宮田第二中学・高等学校校長、石橋参与、植木助教ほかの皆さんより、共立女子学園の概要等の説明を受けた。

その後、質疑応答の時間を取った。なかには、具体的に留学するに

はどうしたいかという質問も出ていた。その後、学生食堂で昼食をとった。そこから中国などからの留学生も合流し、日本の大学での生活などの話しを聞きながら施設の見学に入った。

見学は、グループごとにテーマを設けて三グループに分かれ、大学の校舎、第二中学・高校の校舎を見学した。そして、最後に第二高等学校で、茶道部の生徒さんが準備して下さった茶道の体験をした。

招へい青年は、実際に校舎を見たり、そこで勉強している生徒・学生に触れ、実際の日本の学校はどのようなものか理解する良い機会になったようである。

文部省・共立大学の視察には、バイリンガルグループの森川知子さんが同行した。



茶道体験 共立女子第二高校にて

JICA アセアン混成(教育2)グループ 滞在日程(10月25日〜11月23日)

共通プログラム： 担当 JICE(日本国際協力センター)

- 10月 25日(水) 各国より来日
- 26日(木) ブリーフィング・開講式・受入団体紹介他
- 27日(金) 日本語学習・講義「日本人の文化・価値感」
- 28日(土) 体験的日本語学習(日本人が同行)
- 29日(日) 自主研修
- 30日(月) 講義「日本の工業と経済」「日本の近代史」
- 31日(火) 江戸博物館見学・武道鑑賞

都内分野別プログラム： 担当 友愛青年連盟

- 11月 01日(水) 文部省表敬・プログラムオリエンテーション
- 02日(木) 共立女子大学(八王子校舎)の視察
- 03日(金) 合宿セミナー in 軽井沢 / 参加国自己紹介
- ~ 05日(日) / グループディスカッション・お国自慢ほか
- 06日(月) 自主研修

地方分野別プログラム： 担当 熊本県青年海外協力協会

- 07日(火) 熊本へ移動・プログラムオリエンテーション
- 08日(水) 熊本県庁表敬訪問・熊本市内見学・歓迎会
- 09日(木) 清水が丘学園・熊本学園大学の視察
- 10日(金) 自主研修・ホームステイ対面式
- 11日(土) ホストファミリープログラム
- 12日(日) JOCA メンバー&ホストファミリーとの交流会
- 13日(月) 三角中学校の視察・教育関係者との懇談会
- 14日(火) 水俣での環境保護などの活動の視察
- 15日(水) 白川小学校の視察・日本文化体験・送別会

見学旅行(広島・京都・大阪)： 担当 友愛青年連盟

- 16日(木) 広島へ移動・講義「原爆体験について」
- 17日(金) 平和記念公園(記念館)の見学
- 18日(土) 宮島の見学・大阪へ移動
- 19日(日) 京都(金閣寺・清水寺ほか)の見学
- 20日(月) 東京へ移動

評価プログラム： 担当 JICE(日本国際協力センター)

- 21日(火) 自主研修
- 22日(水) 帰国準備・評価会・送別会 / 23日(木) 帰国

アジアの仲間を増やそう「21世紀のための友情計画」

アセアン混成(教育)グループ見聞録

「訪問地」東京 軽井沢 熊本 広島 大阪 京都

合宿セミナー in 軽井沢



料理自慢で優勝した Team "Philippine" / 友愛山荘の荒井さんから花束が...



出来上がった料理を前に相変わらずの Group Photo !!

○地方プログラム 熊本 二月七日（火）～一五日（水）

熊本県青年海外協力協会（ＪＯＣＡ）は、熊本県から二年ないし三年、海外青年協力隊で海外協力を行った方々の帰国後の同窓生で組織されたイキの良いいメンバーで構成された団体である。

東京を出発した一行は、熊本空港で、JOC Aのメンバーと雨の歓迎を受けた。(二説には、プログラムコーディネーターとして同行した伊勢崎氏が雨男であつたとも言われている)

お世話をして下さり、精神的に満足の出発になりました。また、ホストファミリーの皆さんの受入準備が充分されており、家中でお互いに「遠慮さななつて、うちの中へ」といふ状況に陥るようなことはなかつたよ

熊本ではグループの分野が教育であつたので、それに合わせて小学校から高校まで（大学は東京でみてゐるため）東京を含めると、各種学校を除くで全ての学校教育の現場を見ることができた。あわせて、水俣病で有名な水俣市を訪ね、明水園

うた、訪問などのプログラム以外でも、着物の着付けや滞在中のスラウドを送別会でみんなに見せるなど、心憎いまでの演出が随所に見られた。今後いままでの演出としてお付き合ひしていきたい方々である。

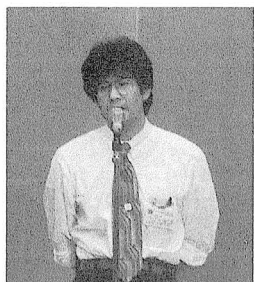
（水俣病の患者さんを対象とした病院）を訪ね、患者さんからお話を聞けるなど、日行程にはハードなものになってしまったが、内容的に十分に満足いけるプログラムが展開された。

聞くところによると、協力隊で海外にいった人が戻ってきてても、OCCのメンバ儿にならぬ人が増えてきているそうである。何かそんなことでいえば、友達でもバックアップができればと思うこの頃である。ま

また、同したJ.O.C.A.の中嶋弘二さん、坂本真奈美さん、高崎由美さんがつかず離れずの親身になった。

まずは情報窓の窓口として、お手伝い出来ればと思います。

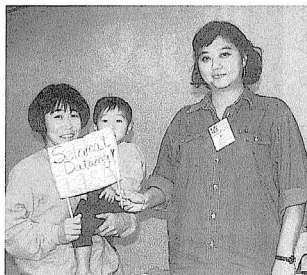
なお、伊勢崎功氏並びに及川敦中、常任委員には、交代で熊本プログラミングにプログラミングコーディネーターとして協力して頂いた。この紙面を借りて御礼申し上げる次第である。



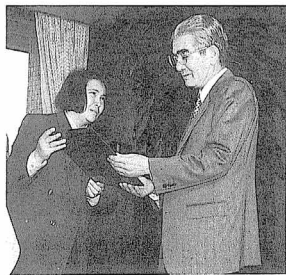
熊本県青年海外協力協会 一番緊張しながら向かえた
会長の末永淳一さん



ホームステイ対面式



ホストファミリーの手作りの旗に
ニンマリするリサさん。(シンガポール)



魚住汎輝熊本県副知事に記念品
を贈すメイさん（タイランド）



ホームステイから戻り 体育館でのレクリエーションを行う



三角中学校の視察・体育館で学校あげでの歓迎を受ける / 清水学園でサッカーチーム結成



○合宿セミナー 三 軽井沢（二月三～五日）

事務局の当初の心配（集まらない。）を、吹き飛ばし、逆に恐怖感とともに、集まり過ぎたり日本人三、二名（定員は一八名）、ブラス通訳四、二名を新たに取らせ、総勢五七名に膨れ上がったアセアン混成グループは、軽井沢に乗り込んだ。

山荘の管理をお願いしているシルバニア観光の篠原さんも、暖かい心配りの荒井さん（実際に山荘を切り盛りしている方）も不安は隠さなかった（今だから言える）。

ニユー軽井沢友愛山荘のボテンシャル（何人までなら泊まれるか？）を確かめるべく、合宿セミナーは、当日を迎えたのである。

東京を出発する前に、プロゲラム
は始まっていた。日本を含めた国
ごとに7つのチームに分かれ、日
本はヘルパーとして四、五人ごと各
チームに分散して、各チームごと
に買い物大会が行われた。日本に
きて一週間が過ぎ、ちやうど自国

鬼氣迫る狀況が垣間みられていた。……

午後四時頃に、紅葉の真つ盛りの
軽井沢に着いた一行は、まず部屋割
りに合せて分かれ自分の寝るところ
を確保し、夕食（バーベキュー）の
時間になった。イスラム教徒の人が

肉を食べることが出来ないことは周知のことであろう。しかし、お折りをちゃんとして上げて賭殺された肉、ハラルミートは食べることが出来るJICEコーデイナーターの高野さんから情報を得ていた事務局は、それを手に入れた山荘に持ち込んでいた。第一回目の戦場はその時起きた。それが、右の写真である。食べるわ



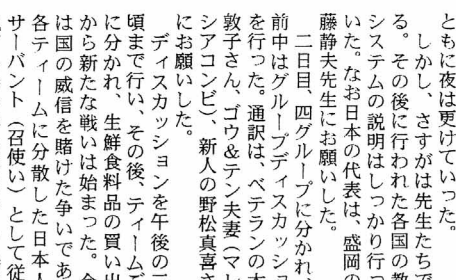
「真面目なときもあるの」の図



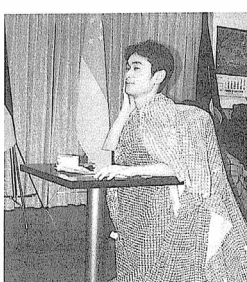
いつも元気な Team "Indonesia"



グループディスカッションの発表を聞いているの図



ハラルミートに群がるイスラム軍団



受けだった二人羽織（土屋君+α） / 元気いっぱいラーメンさん（右）

The 21st All Japan English Oratorical Contest for The President Hatoyama Trophy

第 21 回 鳩山杯 英語弁論大会

1995 年 12 月 16 日 (土)

於：国立オリンピック記念青少年センター

優勝者 (1st prize Winner)

"Knock, and it shall be opened unto you"

門を叩け、さらば開かれん

土屋 和代 (東京女子大学 QGS)

- 第 2 位：瀬崎美帆 "Giving up before even trying" 明治学院大学
第 3 位：水木大介 "The Remedy Worse Than the Disease" 早稲田大学
第 4 位：松井里美 "What Makes Us Fruitful" 明治大学
入賞者：漆原次郎 "The Great Tokyo Earthquake" 大阪外国語大学
石原裕久 "Can You Choose This?" 一橋大学
小松万姫 "Our Real Victory" 東京大学
山下智也 "Devil in the Heaven" 京都産業大学
平野由美子 "Recommendation of Green Tea" 日本女子大学
田村文人 "Our Children and Our Future" 岡山大学



入賞者、ジャッジ、スタッフで記念撮影

JUDGE (審査員) :

Ms. Catherine S. TOYOSHIMA (Teaching at the Tokyo YMCA College)

Mr. Masayuki NAKANISHI (Associate Professor of TSUDA College)

Mr. Timothy James ASHWELL (Instructor at Kyoritsu Women's University)

Judge of Preliminary Contest (予選審査員)

Mr. Micheal CAMMINS (Teaching at Kyoritsu Women's University)

Ms. Faith MILLS as Judge of Preliminary (Freelance Translator)

QUESTIONER (本選質問者) :

Mr. Kelly OLSEN (Reporter of AP-Dow Jones News Service)



上位入賞者 (一位～四位) の皆さん / ジャッジの豊島さんから鳩山杯を渡される

応募総数：38名

主催：友愛青年連盟

後援：外務省

ジャパンタイムズ

オーストラリア大使館

カナダ大使館

アメリカンセンター

協賛：ニッセイ株式会社

キッコーマン株式会社

実行委員長：

尾矢貞雄 (創価大学)

副実行委員長：

石井千夏 (共立女子大学)

磯 真介 (一橋大学)

M.C.：大矢浩弓 (創価大学)

実行委員：

共立女子大学

國學院大学

一橋大学

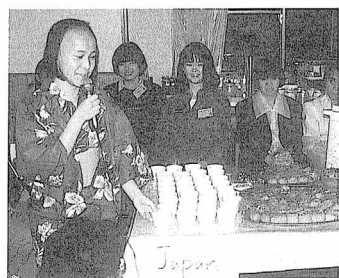
創価大学 より総計25名

友愛での四年間を振り返って
合宿セミナー参加者
青山学院大学 山根博子
十一月の軽井沢友愛山荘での合宿セミナーをもつて、友愛事業への参加も大学生生活最後となつてしまいましたが、友愛での活動を通して一言では言い表せませんが、今までの一言で言うことを私なりに書いてみたいと思います。
思い起こせばあれは大学一年の五月のことでした。「友愛」なんて怪しい名前だなあと最初は思いつつ、同じ大学の先輩 (太田あやさん) に紹介されて参加した合宿セミナー。知っていた友人がわざわざ心細かったにも関わらず、大学の壁を越えて多くの学生と知り合いになれるという魅力に取り付けられてしまいました。
それ以来、合宿セミナーの他に友愛キャラバン隊 (木村賢二隊長) や四〇周年記念式典、国際青年フォーラムなどに参加させて頂きました。
その中でも、とりわけ忘れられない体験となったのは、大学二年のとき参加した「友愛キャラバン隊」です。キャラバン隊では一度もお会いしたことのない支部の方々とホストファミリーに暖かく

迎えられる、人の真心や優しさに触れることが出来ました。九州の柳川市でのホストファミリーだった松藤子さんと今でも家族ぐるみのお付き合いをしています。先日彼女から紙の中での次のようにおっしゃっていました。
「いい人達との出会いが私にとっての宝です。幸せになることより、幸せであることの意味を噛みしめています。」
私自身にとっても、彼女のように常に前向きで、夢を持って一生懸命生きていく方との出逢いは幸運であつたと言えるでしょう。彼女を含め、多くの素敵な方々と出逢う機会を与えられたことに、今は感謝の気持ちで一杯です。
もちろん友愛に参加し続けるにあたって悩んだこともありました。パワフルな先輩や積極的な友人たちの居場所がないような気がした時期もありました。しかし、今思えば自分と他人の性格など比較することなどは馬鹿げていたと思えるのですが、数年前の私は、自分らしく生きる余裕がなかったように思います。そんな中で、事務局の三浦さんや、今はな中での事務局長の小林さんや、今はいんたよ。ネット (ニッパネ) は

二月二六日 (木) ～二〇日 (月)
講義「原爆体験」
講師 正本良忠
友愛・広島県連会長
熊本から電車で移動してきた一行は、ホテルにチェックインした後、夕食を食べ、原爆投下当時、小学生であった正本さんの生々しい体験談を聞いた。
次の日、平和記念館でビデオをみたり、記念塔や原爆ドームを見たりしながら、あらためて平和の大切さを確認した。

Team "Japan" の料理の紹介をする山根さん



Team "Japan" の料理の紹介をする山根さん



広島県連の正本会長と (前列右から5人目)



平和記念公園 原爆ドームの前で



西川晴子さん & 高野慶子さん

Special Thanks to JICE Coordinators

今回のプログラムが無事
終了出来たのも
お二人のおかげです。
心より御礼申し上げます。

サンキューベリました!?

京都では、大阪支部の佐々木慶久さんの引率で、金閣寺、清水寺、古代友禅苑、着物ショーなどを見学し、日本文化に触れた。



佐々木先生より文部大臣賞が渡された / 熱演する第一位の萩原次己さん

平成 7 年度 文部大臣奨励賞 友愛ドイツ歌曲 (リート) コンクール YUAI Internationaler Lied-Wettbewerb

本選 III Auslese

日 時 : 平成 7 年 1 月 2 4 日 (金)

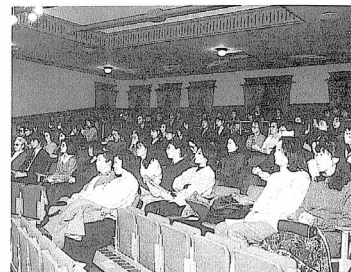
会 場 : 奏楽堂 (東京・上野)

応募資格 九五年四月一日現在で年齢満二〇・三五歳国籍・学歴を問わない
参加費 二一、〇〇〇円
出演者数 第一次予選：五三名
 第二次予選：二七名
賞・その他 第一位には、文部大臣奨励賞
 ウィーン研修目録
 入賞者には副賞として、金一封が渡された
 その他に学生対象の奨励賞、優秀共演者賞が送られた
主催 (財) 日本友愛青年協会
協力 オーストリア勤労青年連盟
後援 文部省、外務省、オーストリア大使館、ドイツ連邦大使館、日奥文化協会
協賛 読売新聞、日本テレビ株式会社、音楽之友社、(株)河合楽器製作所、ヤマハ株式会社

当日は、ゲスト出演として
 (フルート) 深津純子さん
 (ピアノ伴奏) 金井玲子さん
 のミニコンサートが行われ、
 花を添えた。



入賞者 (敬称略) :
第一位 萩原次己 京都市立芸術大学卒業
第二位 碓井智子 武蔵野音楽大学卒業
第三位 神尾志保 国立音楽大学卒業
奨励賞 福田弘子 東京芸術大学四年在学中
優秀共演者賞 武知朋子 京都市立芸術大学卒業
入選 山本佳代 愛知県立芸術大学大学院修了
入選 川口美和 武蔵野音楽大学大学院修了
入選 安齋いづみ 武蔵野音楽大学大学院在学中
入選 小口由里 武蔵野音楽大学卒業
入選 上野洋子 京都市立芸術大学大学院在学中
入選 福島いずみ 武蔵野音楽大学四年在学中



熱心に演奏に聞き入る皆さん



コンクール本選出演者と審査員および関係者 奨励賞を受賞した福田弘子さん



審査員 (敬称略) :
 金光 良美 武蔵野音楽大学助教授
 栗山 和子 武蔵野音楽大学助教授
 佐々木 成子 元京都市立芸術大学助教授
 多田 羅迪夫 東京芸術大学助教授
 野中 匡雄 国立音楽大学助教授
 ワルター・モーア ウィーン国立音楽大学教授
 三上 かりん ドイツ・リート詩の解釈
 島崎 照代 友愛青年連盟参与

本年のリートコンクール本選は
1 1 月 2 0 日 (水) 予定

友愛軽井沢山荘 (個人でも団体でも利用可能です)

～ ご利用案内 ～

○宿泊室 :

和室 (10 畳) 6 室
 洋室 (TWIN) 2 室
 その他、ベッド室など
 最大収容人数 : 約 5 0 名

○その他の施設 :

研修室 (兼、食堂)
 テニスコート (1 面)



○利用料金 (1 泊 2 食) ¥7,400 (和室 3 ~ 4 名で利用の場合)

お知らせ : 本年は、冬季期間中 (3 月下旬まで) 水道管凍結防止のため、休業とさせていただきます。

ÖJAB (オーストリア勤労青年連盟)

96 年 7 月に、創立 50 周年記念行事開催

友愛青年連盟の姉妹団体であり、「友愛思想」を提唱されたクーデンホーフ・カレルギー伯爵ゆかりの青年団体 ÖJAB (オー・ジェイ・エー・ビー) が、本年、創立 50 周年を迎え、7 月 6 日から 13 日までの予定で記念行事が開催される。

友愛青年連盟の創立 35 周年には、今は亡きブッフビザー ÖJAB 会長が、ウィーンから駆けつけて下さるなど、長く深い交流が続けられており、この 50 周年記念行事には、友愛からも使節団を派遣する予定である。

“ÖJAB 派遣団ユニット”のメンバーを募ります!!

役員・会員登録用紙 (兼、入会申込書)

※ 必要事項をご記入の上、お送り下さい

分 類	役員・一般会員・学生会員	役 職		
ふりがな				
お名前	写 真 正面から写した 鮮明なもの			
生年月日				19 年 月 日生
自宅電話				() ー
自宅Fax.				() ー
ふりがな	(〒)			
ご住所	県名			
勤務先 学校名	名称 :	部署・ 学部名		
勤務先電話	() ー	勤務先所在地 (郵送物を勤務先にご希望の場合)		
勤務先Fax.	() ー	(〒)		

※下記は書ける範囲でお書き下さい

所属団体 (支部名)	代表者名 電話番号 () ー
出身校 (卒業年度)	学部名/ サークル名 (19 年卒業)

○友愛の事業について

興味のある 事業分類	1. 国内研修事業 2. 国際交流事業 3. 国際教育事業 (詳しい情報を希望する事業内容に○印をお付け下さい)
今まで参加 した友愛の 主な事業	事業年度 19 年 事業名

○お納め頂いた金額

納入期日	19 年 月 日	会 費	金額 : 円
寄付金	金額 : 円	賛 助 金	金額 : 円

迅速かつ正確な情報の伝達のために

再登録のお願い

○現在、友愛事務局では、迅速かつ正確な印刷物の送付と、交流事業などでの「名前と顔の一致」が出来易いように、写真を含めた個人の情報を、コンピュータ (マッキントッシュ) を使って整理しています。

また、事務所の引越等、個人の情報が紛失してしまった、古すぎるものもあるようです。そこで、お手数をお掛け致しますが、左の用紙を使って、皆さんの最新の情報をお知らせ下さい。

記入の仕方

1. 基本的には、一般の「履歴書」の書き方と同じです。読み易い字 (楷書) でお願いします。
2. 数字の「0、6、9」「1、7」は間際らしいので、分かり易く、また番地等「一」で切れるところは、少し濃い目にお書き下さい。
3. 写真は、スキャナーで取り込みますので、A4 (雑誌サイズ) 以下でしたら大きさ、スナップ写真等の他の方と写っているものでも、形態は問いません。但し、なるべく最近のものにして下さい。(3年以上前のものは避けて下さい)
4. 発送物を勤務先に送る方が良い方のみ、勤務先所在地をお書き下さい。
5. 「所属団体」のところは、友愛支部に所属している方は、支部名をお書き下さい。複数の団体に加入されている方は、一番関りの深い団体名をお書き下さい。
6. 「出身校」欄の卒業年度は、記憶にある方だけで結構です。なお、学校名は、世代が違う方と話しをするときの「話しのネタ」になりますので、出来るだけお書き下さい。
7. 「友愛の事業」欄は、この3つの事業分類によって、募集要項などをそれぞれでお送りするためのものですので、興味のある事業分類に○印を付けて下さい。複数回答でも結構です。
8. 「参加事業」欄は、事業名だけでも結構です。派遣事業等の同窓会活動などに生かしていく予定です。
9. 「会費等の欄」は、次年度以降の参考のためです。「寄付金」「賛助金」をお納め頂いた方は、会費を別途に納めて頂かなくても、購読料を含んだ形で処理させて頂きますので宜しくお願い致します。
10. 「賛助金」は複数年お納め頂ける金額、「寄付金」はその年度のみ金額として考えさせて頂きます。

この用紙を一度お出し頂ければ、今後は、友愛の事業に参加するとき、山荘の申込みに、改めて「申込書」を提出して頂くなくても、電話一本で良くなりますので、御協力の程、お願い致します。
※このページをコピーし、外枠 (A6サイズ) で切ったものでも結構です。

友愛ネットワーク

ユニット活動の手引き

「個人の尊重を基本に」

現代は、電話、FAX、そしてパソコン通信、利用したインターネット等を含め、通信技術の発達により、複数の人間が、同じ時間に、同じ情報に接することが出来るようになった。そして、一緒に考え、意見を交換できる時代が着実に近づいている状況である。その昔、飛脚の人力、その足で文書を届けても、その首を長くしながら待たなくても良くなった。情報の交換の手段の空間的距離というハンデは、確実になくなっている。

また、コピー機などに代表される複写技術の発達により、同じものを多くの人々が共有出来るようになってきた。ときには、複製品 (コピー) に本物がとって代わられることさえある。これらは人間自身の要求、「同じになりたい、平等になりたい」というものの、その中で、唯一、取り替えの効かないもの、それが「あなた」と「私」という人格を持った個人である。

ですから、私たちは、他人のコピー (模造品) になることなく、一人一人がしっかりと自分の意志を持って、前向きにその文明の利器を活用して生きていきたいものです。友愛ネットは、そんな積極的な人を支援していきたくて考えます。

また、友愛ネット上では、基本的には、一般社会での「個人の肩書き (年齢)」は意味を持ちません。その人自身が持っている能力、ポテンシャル (能力) が問われます。つまり「あなたには、何があるのか」が問われるのです。そんな社会がどこかにあつてほしいのではないのでしょうか？
そんな「自由と平等の実現した友愛社会」の実験室、それが、「友愛ネット」です。

「ユニットを組むには？」

ユニットを組むには、まず仲間を募ることから始まります。そのためには、「みんなの思いや考え」をまとめるための「企画書」が必要で、レポートを書くときや、人と役割分担して何かをやるときと同じようにこの企画書は、「SWITH (何を目的に、誰が、何時、何処で、何を、どのようにするか) が分かるようなものでなければなりません。それらの要素がなければ、人に理解してもらえないこと、納得すること、出来なくなること、どんな素晴らしい出来事でも、他人に解ってもらえないこと、単なる妄想でしかありません。特に、直接会って話をしないので、物事を進めていくときには、それらがしつかりしていないと、思わぬ方向に向かってしまふことがあります。また、その「目的」「結果」までの道のりが遠ければ遠いほど、そして、その「どの様に」という計画が明確で、解り易いことが要求されます……。

紙面の都合上、次号に、この続きと、「フォオマート (書式)」を掲載します。

活動の基本は、会費です!!

健全な活動のために

会費の納入をお願い致します。年額 (機関紙購読料を含む)

一般会員 3,000 円 / 学生・外国人会員 1,000 円

その他、寄付金・賛助金などは、1口10,000円 (何口でも)

特典: 機関紙「友愛」の送付、各種事業の案内と友愛からの推薦、軽井沢友愛山荘を優待料金で利用できる等。

お振り込み先: ①郵便振替 00170-7-46589

②第一勧業銀行虎ノ門支店 (普) 1071635

口座名義はいずれも「友愛青年連盟 会長 嶋山 邦夫」

※ お詫び: 前回の新聞にて、第一勧銀の支店名が「飯田橋」になっておりました。お詫びして訂正致します。

友愛の動き

平成七年
一月二〇日
二月二〇日

このページには、友愛本部の各種活動や募集、会議などの報告の記事、そして支部や友愛ネットワークの活動の報告等を掲載します。みんなに知らせたいこと、話し合いたいことがありましたら、ぜひしりお寄せ下さい。

活動報告

青森より 第一〇回 友愛&鳩山杯 ボーリング大会開催

二月三日(日)、友愛青年連盟十和田支部(戸来勉支部長)と、みちのく支部(高村美俊支部長)は今回で一〇回目をむかえる支部合同ボーリング大会を開催した。大会には、約八〇名の青年男女が集まり、日頃の腕を競い合いながらも、和気あいあいのプレイを楽しんだ。プレイ終了後、特別賞として「カラテテレビ」や豪華景品が当たった抽選会が、全参加者を対象として行われた。大会上位入賞者と抽選会の結果



は、以下の通り。
優勝 国分久子さん
第二位 苦米地 敷さん
第三位 柴山 裕 さん
ブービー賞 堰端みさおさん
特別賞(カラテテレビ獲得)
石川 恵 さん

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。平成八年度から、本当の活動をスタートすべく、皆さんのご意見・ご要望をお待ち申し上げます。

若者は何を考えているのか?を知る良いチャンスになればと考えます。真剣勝負をする前に、フランクに情報交換をすることが出来ればと思います。具体的内容は、次号にて。

その他、八年度からのユニット企画を募集します。「肉付け」はこの三ヶ月で興味のある方々で行っていきましょう。アイディアがないところには、新しいことは生まれません。皆さんのご意見をお待ちします。

次号の原稿締切は、 一月一五日(月)必着

特集記事は、 平成八年度 事業計画(案)

「友愛では何をしよう?」
としているのか?」
皆さんの活動報告も
随時掲載

(原稿はファックスなどで)



(事務職員)
中央奥から...
田中恭一
小松純子
向原メグミ
三浦厚志です。
宜しくお願い致します。

地下鉄「丸の内線」茗荷谷駅下車 徒歩7分
「春日通り」小石川5丁目交差点そば(通り沿い)

友愛クラブ通信

第三二六回例会(二月二三日)

講師 佐高信先生(評論家)

「日本の金融システムの問題点」

現在、金融機関の経営破綻が問題に

なっている。それは、た

だ単に金融機

関の経営者の

経営方針に問

題があるのだ

はなく、それ

を指導する立

場の政府機関

(大蔵省)に

も問題がある

。官官接待

も含め、「お役人」は様を正すべきで

あろう。

若手の勉強会も行なうぞ!



参加者募集

WANTED to Participants!

下記の2つの事業の参加者を募集します。
詳しくは、友愛事務局までお問い合わせ下さい。

IYY (International Youth Year) 10周年記念

アジア・太平洋ユースフォーラム

主催：中央青少年団体連絡協議会(中青連)

期日：1996年2月9日(金)

会場：国立オリンピック記念青少年センター

AYC (Asean Youth Council) に加盟する19ヶ国の団体の青年代表、約20名と「21世紀について」話し合います。
※なお滞在期間(2月8日~13日)のスタッフも募集中

第31次 友愛東南アジア使節団

主催 友愛青年連盟

期間：1996年2月22日(木)~29日(木)

訪問国：マレーシア・タイランド(各3泊)

参加費：¥128,000- 募集人員：10名

友愛のアジアセミナー・国際会議で来日した青年の所属する友好団体に受入協力してもらいます。
日程には事前研修会1泊(都内)が含まれます。

皆さんからの原稿・

ご意見をお待ちします!!

〆切日は毎月15日必着!!

財団法人 日本友愛青年協会
友愛青年連盟

☎ 03-5684-3188 / Fax. 5684-3186

〒112 文京区小石川4-21-2

ハイツ小石川201号

「文章・写真」は下記の要領でお送り下さい。

文章：ファクシミリ、フロッピーディスク

(マッキントッシュ or 2DD / MS-DOS フォーマット済)
または、パソコン通信「ニフティサーブ」の
MAIL BOX: MXE 00467 (三浦厚志) まで

写真：「原物」を郵送で別途にお送り下さい。

購読料(年額)：一般会員 3,000円・学生 1,000円